

はじめに

本書は平成14年度出土文化財巡回展示会の一貫として行われた講演「水のめぐみ～大間々扇状地の歴史を語る～」の講演録です。

当事業団が県内各地で行ってきた巡回展示会は東毛地区の佐波郡東村で今年度は開催されました。この周辺は北関東自動車道建設関連の発掘調査が集中しています。会場となった東村公民館のすぐ南側でもそうした遺跡の一つである下田遺跡を調査しており、今回の巡回展示会に並行して現地説明会を開催いたしました。また、展示会では当事業団が東毛地域で調査中の遺跡をはじめ、周辺市町村の協力の下、多くの遺跡を遺物中心として紹介することができました。

今回の講演では展示会のテーマである「水のめぐみ」を、利水や治水の面からその歴史性について来場者に考えていただくきっかけ作りを目的としていました。そのため周辺市町村の埋蔵文化財担当者に御登壇いただき、発掘成果を紹介してもらいました。

本書が、当日ご来場いただいた方にとどまらず、より多くの方々に大間々扇状地をはじめとする東毛地域に住んだ先人たちと水との関わりについて、もう一度目を留めていただく契機となりますことを祈念いたします。

平成15年3月22日

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長 小野 宇三郎